

# 春日崇志の カメラ風土記

## 関宿と伊賀上野城 を歩く (三重県亀山市・伊賀市)

関宿は三重県亀山市にあり、東海道五十三次の47番目の宿場町であった。現在、東海道の宿場町で往時の面影を残すものはほとんどないが、関宿には今でも江戸時代から明治時代の建物が多数残されており、その多くは現役の家で、軒先には季節ごとに花が添えられている。

賀流忍者の発祥の地である。忍者とは敵の情報収集し諜報活動をする者のことであり、戦国時代に伊賀や甲賀を中心に活躍した。

市街地にある伊賀上野城は1586年に築城され、数度の再建を経て1935年に現在の姿に復興した。

城郭内の公園は春には桜、秋



には紅葉が、白く輝く城と絶妙のコントラストを描き美しい。

【アクセス】新千歳空港から中部国際空港（セントレア）へ。空港からレンタカーで関宿まで約1時間、伊賀上野まで約1時間30分。関西空港からもアクセスしやすく、レンタカーで伊賀上野まで約1時間45分。

① 満開の桜と伊賀上野城。三層の天守閣をもち、その白い優美な姿から白鳳城とも呼ばれる。

② 東海道にある関宿は、大和街道、伊勢別街道の分岐点として繁栄した。

③ 関宿の旅館の一つ會津屋は、現在では街道そばや山菜おこわが楽しめる食事処として活用されている。

④ 関宿のほとんどの家屋の軒先には季節ごとに花が飾られ、旅行者を楽しませている。

